

生物科学学会連合主催 公開シンポジウム

気候変動が生物多様性に与える脅威

～地球はどのくらい危機的状況か～

日時 2021年12月18日 (土)
13:00-17:00 オンライン

環境省 箱根ビジターセンターより配信します

生科連

検索

■ プログラム

趣旨説明 小林 武彦 (生科連代表)

講演1 気候変動と生物多様性 – IPCC最新報告

河村 玲央 (環境省)

講演2 長期モニタリングから見えてきた高山植生の変化

下野 綾子 (東邦大)

高校生 生きものの”つぶやき”
フォトコンテスト優秀賞発表

参加費無料

事前申し込み制

(12月13日締切り)

講演3 環境DNA観測から生物多様性とその変化を捉える

近藤 倫生 (東北大)

講演4 環境変化による感染症発生

前田 健 (国立感染研)

パネルディスカッション

「地球はどのくらい危機的状況か？」
—気候変動が生物に与える影響について—
モデレーター 宮下 直 (生科連)

主催・企画：生物科学学会連合・地球生物プロジェクト委員会
後援 日本学術会議 (予定)

問い合わせ：seikaren@nacos.com. Tel: 03-3816-0738